

**第６回 調布美術のひろば**

 日程が決まりました

 ２０２２年８月１７日（水）13:00開場

　　 　　　　～２１日（日）16:00閉場

 会場：たづくり２階「北ギャラリー」

 出品受付：７月末

 主催：調布九条の会「憲法ひろば」

**第１７４回(２０２２年２月)例会 参加費300円**

**｢生めよ増やせよ｣から｢生むな､増やすな！｣､そして･･･ 　産婆･益永スミコさんの生涯**

**お話：むらき数子さん**

**近現代史･女性史研究者､調布｢憲法ひろば｣世話人**

**日時:２月２３日(水･休)13:30～**

**場所:あくろすホール**

**第１７５回（３月）例会　　　 参加費300円**

**世界を動かす被爆者の声**

**核兵器禁止条約発効から１年とこれから**

**お話：渡辺　里香さん**

**ピースボート インターナショナルコーディネーター**

**日時:３月２１日(月・休)13:30～**

**場所:あくろすホール**

**第１７６回（４月）例会　　 参加費300円**

**戦争によるＰＴＳＤ（仮題）**

**お話：黒井 秋夫さん**

**「ＰＴＳＤの日本兵と家族の交流館」創設者**

**日時:４月３０日(土)13:30～**

**場所:あくろすホール**



**▼真の批判勢力こそ勝たせたい**

　選挙中から「批判」が悪いことのような論調が横行して気分が悪かった。野党が「敗北」すると、待ってましたとばかり野党第一党が「提案する党」への変身を表明して体制替えした。野党の仕事は政府を批判することではないか。まっとうな批判のできる野党が強くなって初めて政府との緊張関係が生まれ、政治が機能する。かつての社会党が政権にはいるために主張をまげたのを契機に没落していったことを思い出してほしい。同じく昨年秋の選挙で政権交代を実現したドイツで連立政権を成立させた三党は、それぞれの党の主張を変えることなく厳密な政策協定を結び、それに従うことを国民に約束して政府を作った。相容れるはずのない緑の党と自由民主党が連立できるのだ。どうして日本ではこれができないのか。参院選には憲法の命運がかかっている。市民の目で真の批判勢力を勝たせよう。　（布田・石川康子）

**▼野上弥生子のことば**

 「労働組合とは何をめざすべきか、『野党共闘』に反対する連合とは何者か？」を考えさせられた講演でした。そして最近接した野上弥生子の言葉をかみしめました。１月５日の「天声人語」に紹介があった１９３７（昭和12）年元旦の「東京朝日新聞」に、「新春の言葉」があり、野上弥生子の「一つのねぎごと」が載っています。「ねぎごと」とは願い事。その後半に次のように述べています。「序でに神聖な年神さまにたった一つお願いごとをしたい。今年は、豊年でございませうか。凶作でございませうか。いゝえ、どちらでもよろしうございます。洪水があっても大地震があっても、大火事があっても暴風雨があっても、大噴火があってもコレラとペストが一緒に流行ってもよろしうございます。どうか戦争だけはございませんやうに―」。野上弥生子にはその年の盧溝橋事件（７月７日）や12月の南京事件の予感があったのではないか。国民の最大の願いは戦争がないこと、労働運動の基本も、戦争を防ぐこと、その芽や根があったらそれを取り除くことではないのか。福山さんの講演を聞いてその基本に立ち返るべきだ、と考えさせられた。（仙川町・岩本努）

**▼労組を担った立場での反省は？**

 過去20年間、日本だけが賃金が下がっていることについて「自公政権のせい」というのは情けない。連合が経営者に忖度し、賃上げ要求せず、非正規化に手を貸してきたからではないか？　自治労も非正規公務員の低賃金、無権利を放置してきたのでは？　その反省の言葉を聞いたことがない。労働組合の中心を担ってきたものとしての反省から発する言葉でなければ、到底、若者には届かない。（深大寺北町・佐藤定夫）

**▼若干の注文**

 論点を絞った話がほしかった。当然立場を踏まえた意見で結構ですが。

　（三鷹市、高橋秀明）

**▼共闘は発展中**

　先の総選挙で残念なことに連合が共闘の分断に踏み出し、改憲勢力が国会の多数を握った。しかし同時に、かつて連合や自治労の中枢におられた福山さんが「市民と野党の共闘」の前進のために奮闘しておられる！　私は、ここに幾多の障害を乗り越えて発展する民主主義の「現地点」と明日をみる思いがしました。

　　　（多摩川・鈴木彰）

**▼ＺＯＯＭ配信への激励、ありがとう！**

　悪戦苦闘が続くＺＯＯＭ配信に激励の言葉の数々。感謝です。　（係）

　●聞き取りにくい部分もありましたが、今後もズームで例会を視聴したいと思っていますのでよろしくお願いします。

　●自宅に居ながら参加できるのは大変ありがたいので、これからもよろしくお願いいたします。

　●次回も参加出来る予定なので,実験を兼ねて配信してください。

**2022.1.23**

**参加者の**

**感　想**

**市民と野党の共闘**

**から新しい日本へ**

**調布｢憲法ひろば｣例会のご案内**

**第１７３回**

**憲法ひろば**

第**200**号（２面）**2022年1月25日**

**発行:調布九条の会「憲法ひろば」**

**E-Mail：chofu9jou@yahoo.co.jp　WEBサイトhttp://www.geocities.jp/chofu9jou/index.html**